

## 序 文

本小冊子は、2001～2004年度科学研究費補助金基盤研究(A)「ロシアの世界経済との統合に関する総合的研究」(課題番号 13303001)の研究成果の一部である。本稿の執筆者は研究協力者の<sup>こんのゆうご</sup>金野雄五(富士総合研究所調査研究部)であり、本稿は2002年7月13日にセンターで開催されたポスト・シンポジウム・セミナーにおいて報告されたペーパーを加筆・修正したものである。

ロシアの世界経済との統合について研究する本研究プロジェクトでは、ロシアのWTO加盟は中心的検討課題の1つと位置付けられている。また、2001年9月11日以降の米ロ関係緊密化のなかで、加盟に向けたプロセスが早まる可能性が生じてきた。このため、本研究プロジェクトでは、この問題を担当する研究協力者として、ロシア・CIS諸国の対外経済関係に明るい<sup>こんのゆうご</sup>金野雄五氏に共同研究に参加していただくこととした。

ロシアのWTO加盟問題に関する第1回目の研究会は、2002年2月2日にセンターで開催された。そこでは、ロシアとの交渉を実際に担当している経済産業省通商政策局通商機構部公正貿易推進室の<sup>よこざわちから</sup>横澤力室長補佐と<sup>いがらしあつし</sup>五十嵐淳志係長に「ロシアのWTO加盟をめぐる諸問題」について報告していただいた。この問題に関する最新かつ正確な情報を提供していただいたことについて、あらためて謝意を表したい。

7月13日の研究会はこの問題に関する2回目の研究会となった。金野報告では、現時点におけるロシアのWTO加盟をめぐる問題状況が的確に報告され、それを受けて充実した討論がなされた。本小冊子が、この問題に関する本格的研究の1つの手がかりとなれば幸いである。

2002年8月

研究代表者  
田畑伸一郎